

つくりだそう自治の力で明るいまちを

相模原市自治会連合会の現況

地区自治会連合会数	22
自治会数	592
加入世帯数	180,204 世帯
班(組)数	11,895
H.21. 4. 1現在	

事務局 〒229-0036 相模原市富士見6-6-23けやき会館内 TEL.042-753-3419 ●〒229-8611 相模原市中央2-11-15相模原市役所市民協働推進課内 TEL.042-769-8226

政令指定都市を迎えた今・・・

私たちがめざすもの・・・

知恵と力を結集し

地域の幸せを 実現しよう!!

政令指定都市さがみはらの一員として、私たち自治会がめざしていくもの
それは、みんなが明るく楽しく笑顔で暮らせる地域をつくること。
知恵と力を結集し、私たちは、地域の幸せを実現していく・・・

魅力を高め、自立した地域をつくる・・・

政令指定都市として新たなスタートを切る相模原市は、より一層魅力を高め、より自立した都市づくりを進めていきます。こうした都市づくりの方向は、まさに私たち自治会が取り組む地域づくりにもあてはまります。

一人ひとりの知恵と力が集まれば、それは「地域力」として、魅力ある自立したまちをつくるエネルギーになります。

このエネルギーを、相模原市の新たなまちづくりの仕組みの中へ十分に注ぎ込み、地域の中心的存在として、これからも変わらずに、地域の笑顔を支えていきましょう。



地域の笑顔のために・・・

活躍の場が広がる・・・

区の個性や特徴を活かしたまちづくりを進める拠点となる区役所や、自主的・自立的なコミュニティ形成の拠点となるまちづくりセンター。自主的な話し合いの場であるまちづくり会議。

こうした、新たなまちづくりの仕組みがスタートします。私たち自治会の活躍の場は、大きく広がっていきます。

まちづくりセンター

自主的・自立的な
コミュニティ形成
の拠点です。

※区役所が設置される地区
は、地域政策課がその機
能を果たします。

まちづくり会議

地域のまちづくりの課題
について自主的に話し合
い、解決につなげます。

現在、設立に向けて各
地区自治会連合会等が中心
となり準備を進めています。



みんなで考える・・・



市長へも伝えよう・・・

自治会長と市長が、相模原市の
将来構想について語りました！
「平成21年度
市民と市長が語る会」

11月11日(水)、13日(金)、15日(日)の3日間、自治会長と市長が市政について対話をする「市民と市長が語る会」が、市内3会場(南合同庁舎、あじさい会館、サン・エールさがみはら)で開催されました。

最初に市長が、都市基盤整備や、福祉、教育、環境など様々な分野にわたり「相模原市の将来構想」や政令指定都市移行後の市民協働のまちづくりについて話をしました。

その後、参加した自治会長が、基地や財政、福祉などの問題や、自治会加入促進に向けた市の取組み、政令指定都市さがみはらの「人が集まる都市づくり」などについて意見を述べ、また、市長の意見を聞くことができました。



自治会長と市長との話し合いの場

『市政を話し合おう会』
が開かれました

11月16日(月)、市自治会連合会主催による『市政を話し合おう会』が市役所で開かれ、加山市長と本会役員・理事(22名)との意見交換を行いました。

懇談では、「相模総合補給廠の早期利用」「避難所の運営」「地域医療」など、これまで自治会として、また相模原市としても課題となっていることや、政令指定都市移行後に新たに相模原市の事務となる「教職員の採用」や、政令指定都市移行後のまちづくりを進める上でポイントとなる「まちづくりセンター」等について、市長との活発な意見交換を行うことができました。

『自治会活動功労者感謝状贈呈式』
62名の方へ市長から贈呈されました

『自治会活動功労者感謝状贈呈式』が、平成22年2月6日(土)、相模原市市民会館で行われました。
この表彰は、永年にわたり自治会活動に従事され、心のかよいあう明るいまちづくりの推進、地域の福祉向上に寄与された方に、相模原市がそのご尽力に対して感謝の意を表すものです。
22地区の各自治会連合会から推薦された62名の方が市長から感謝状の贈呈を受けました。
受賞者は次の方々です。(敬称略)

- 小山 和春、大野北 陽一、田名 昌訓、東林 匡甫
- 井上 正明、河本 善三、上 信清、金子 尚行
- 高橋 正明、赤坂 善三、佐藤 信清、富永 和久
- 清 新、大野中 高憲、宮岡 章憲、栗原 和久
- 田代 明寛、野山 浩、金子 輝司、中澤 秀樹
- 松井 隆、藤原 龍考、佐藤 孝、大久保輝男
- 本所 要、阿部 榮一、麻 溝 省次、津久井 義男
- 延 昭徳、松村 嘉之、座間 隆男、上原 弘幸
- 横山 昭徳、本谷 和、小泉 尚己、古宮 國男
- 篠宮 厚喜、鳴野 和人、井上 宗信、山内 勝二
- 光が丘 茂、大野南 大二、熊耳 尚己、相模湖 岩男
- 門倉 茂、薄井 上、萩原 正、神保 岩男
- 橋本 慎也、廣田 義人、志村 英明、長谷川 怡
- 小倉 慎也、庄田 哲造、土屋 清、鈴木 光雄
- 久保 誠一、渋谷 義人、相模台 春三、藤野 義徳
- 草野 寛、寺澤 重治、相武台 孝三、高橋 孝雄
- 渡辺 照雄、久間 重治、相武台 孝三、天野 亮一
- 倉橋 美明、西村登起子、大久保昌生
- 大前 六平、大久保昌生
- 島田 貞雄



受賞者の皆さん

今年度も26箇所地域市政懇談会を開催

市自治会連合会と相模原市が共催する『地域市政懇談会』が今年度も各地区で開催されました。以下の議題について、それぞれの地区で活発な議論が交わされました。

地区(開催日)	議題名	地区(開催日)	議題名	地区(開催日)	議題名
串川 6/27(土)	津久井広域道路の建設に付随する周辺整備の方針について 財産区管理の山への進入路について	大野中 8/11(火)	歩道整備(歩行者の安全対策)について 消防団について 安全な生活道路の整備について ほか	星が丘 10/27(火)	コミュニティ施設設立検討課題その後について 政令指定都市を機に自治会費相当分の特殊税設定について 交通と人体に害をおよぼすことのない安心して住める新たな街路樹対策について 公園等のない地域に施設の設置を ほか
鳥屋青根 6/27(土)	青根の地域、経済振興策について 地上デジタル放送移行に伴う諸問題について 市の防災計画について	東林 8/13(木)	東林地区における消防団受持区域の見直しについて 相模原南警察署の移転について 上鶴間4丁目大和境変則交差点の改善等について ふれあい広場の樹木について ほか	光が丘 10/29(木)	旧相模原工業技術高等学校跡地及び県職員住宅跡地の今後の利用計画について 学校の空き教室の利用について 国民年金健康保養センター「さがみの」について
中野三中央 7/4(土)	名手橋の老朽化対策について 災害予防の見地からの生活道路対策について 津久井湖周遊歩道について 道志川下流域における振興策について ほか	橋本 10/5(月)	ごみ集積所のメンテナンス・その他について ふれあい広場の設置基準の緩和について 小型子どもセンターを併設した多目的センターの整備について	相武台 10/30(金)	市道47号のバリアフリー型歩道への整備促進及びキャンブ座間ゴルフ場側道の相互利用について 相武台まちづくりセンターにおける「まちづくり区域」について 公民館(出張所併設)の大規模改修等について
城山 7/4(土)	湖月荘跡地について 通学路の安全・防犯対策について さがみ縦貫道路城山インターチェンジ周辺のまちづくりについて 若葉台地区歩道面の整備とバリアフリー化について	麻溝 10/13(火)	麻溝公民館・出張所の駐車場増設について T字路標示等について 相模川流域等危険防止赤旗の設置について	清新 11/2(月)	南橋本駅(付近)への交番設置について 「清新公民館周辺事業検討委員会」への協力と意向等尊重について 小田急多摩線延伸の促進について ほか
藤野町北部 7/5(日)	中央自動車道防音壁の設置推進について 沢井隧道の拡幅について 県道521号(佐野川上野原)の野沢峠周辺道路の拡幅について 地上デジタルテレビの藤野中継局(仮称)の新設について ほか	相模台 10/15(木)	商店街の活性化について 都市計画道路村富相武台線の4車線化の整備について	小山 11/5(木)	相模総合補給廠及び小田急多摩線延伸に関連して 宮下地区の道路整備の促進について 相模総合補給廠の西側・南側のフェンス沿いの歩道の自転車と歩行者の通行区分ラインについて ほか
藤野町南部 7/5(日)	県道整備及び津久井広域道路について 大規模残土の埋め立てに関わる規制強化条例の制定について 上水道整備について ほか	大野北 10/16(金)	市道淵野辺古淵の未整備部分の安全対策と同路線のバイパス建設計画について 自治会長及び地区自治会連合会役員選任の課題について	大野南 11/6(金)	神奈川相模原南警察署移転について BRT問題について 避難所運営協議会補助金交付制度の見直しについて ほか
内郷 7/12(日)	国道412号の整備について 観光資源再点検と整備について ~ 点から線へ更に面へ ~ 自治会法人化と地域集会所の譲渡について	田名 10/19(月)	望地の国有地及び水田地帯の親水公園整備等について (仮称)下九沢大島線について 相模線の複線化について	新磯 11/9(月)	県立新磯高等学校跡地の活用について(防災コミュニティ公園の整備) 新戸踏切に接する市道新戸111号の拡幅及び線形改良について 市道の拡幅整備等について 上磯部相模川河川敷「浚渫工事」の早期実施等について ほか
与瀬小原千木良 7/12(日)	中央道相模湖東入口インター(東京方面入口)の開設について 相模湖畔の公園駐車場の改良について 県道515号(三井相模湖)の安全対策について 合併による制度の統合について ほか	横山 10/20(火)	(高齢者の)コミュニティ施設設立検討協議会への今後の支援について これからの市の高齢者施策について		
大沢 8/6(木)	骨格となる道路整備について 相模川周辺の観光資源の活用について	上溝 10/22(木)	相模線番田駅への東西進入道路と駅前広場の整備について		
		中央 10/23(金)	ひばり放送の改善について 共同墓地(合葬墓)の建設計画の進捗状況について 国民年金健康保養センター「さがみの」について		



1 城山湖(本沢ダム)

2 本沢梅園

3 かたくりの里

◇散策路を歩き、城山湖を1周することができます。このあたりは野鳥の宝庫であり、野鳥観察所や展望台が設置されています。

◇約1,000本の梅が栽培されています。3月中旬まで一般開放しており、梅の花で白一色に染まる景観を、ぜひ一度ご堪能ください。

◇南関東一のかたくりの群生地「かたくりの里」(かながわの花の名所100選)では、3月下旬から4月上旬まで可憐なカタクリの花を楽しむことができます。

春の“つくい”を歩こう!



春の訪れを感じる今日この頃...
おいしい空気を吸いながら、
春のつくいを歩いてみては
いかがですか?



4 県立津久井湖城山公園「水の苑地」
◇津久井湖と相模川。「水」を感じることができるスポットです。津久井湖と城山を一望することができます。



5 県立津久井湖城山公園「花の苑地」
◇なんととっても桜でしょう。桜の小道やガーデンハウスなど、花の香りが満ちたエリアを散策してください。



6 城山(津久井城址)
◇津久井城は、戦国時代の山城でした。戦国の世に思いを馳せながら、豊かな自然を満喫してみてください。城山は、かながわの景勝50選に選ばれています。



7 県立津久井湖城山公園「パークセンター」
◇根小屋地区にあるパークセンターは、平成18年4月にオープン。城山の歴史や自然を紹介しています。

人物紹介



筆を手にする田澤さん

この欄では、各界で活躍される方を紹介しています。今回は、上溝地区にお住まいの、書画家「田澤昇」さんです。
田澤さんは、平成21年に、我が国最大の書道展である毎日書道展(第61回)で、文部科学大臣賞と並ぶ最高賞である「会員賞」を受賞しました。会員賞の受賞作は翌年から「審査会員」となり、審査員の資格を得ることになります。
今回は上溝の田澤さんのお宅へ伺いました。

上溝の印象は?
私は、昭和15年に東京の中野区で生まれました。生まれも育ちも東京でしたが、昭和50年に上溝に越してきました。
上溝は、緑が多く、自宅の前には鳩川が流れており、シラサギが飛んでくることもあります。自然が豊かな場所だと感じました。
現在は、周辺に多くの住宅が建ち並び、当初とはだいぶ様子も変わってきました。古いものと新しいもの、新旧混在としています。政令市移行後にはどのような街になるのか楽しみでもあります。

「書」への出会いは?
大学時代に、当時、昭和天皇の祐筆を務めていた中島有先生と出会い、初めて書の世界を知りました。この時から、古典・古筆の魅力に取りつかれてしまいました。中島先生の研究会にも所属し、本格的に勉強を始めました。ただ、私自身、字が上手だったわけではなく、最初のうちは、とても苦勞した思い出があります。
大学を卒業して教員となりましたが、書道展などに作品を出展しながら、日々、技術を磨いてきました。
書家でもなく画家でもなく
最初は書(いわゆる字)のみの作品を描いていました。40歳の頃、水墨画を学び始めたのですが、これまでも筆を使い慣れていたので、思いのほか上手に書くことができました。自分でもびっくりしました。
この水墨画との出会いが、私の作品に大きな影響を与えることとなりました。通常は、書なら書、水墨画なら水墨画というように、それぞれが独立した作品が多いのですが、私が目指すのは、書と画がコラボレーション(融合)した作品です。簡単に言いますと、画(水墨画)の中に書(文字)が入る作品です。ですので、私は「書画家」なのです。

自治会活動は?
四ツ谷自治会では、副会長として、主に消防団を担当しています。なかなか忙しい仕事だと感じています。自治会加入率の向上のためにどのように取り組みしていくかなど課題もありますが、現在の会長がとても

先生としての活動は?
現在は、県立城山高校で非常勤講師を務めています。書道部の顧問としても生徒に書を教える立場ですが、生徒たちの上達ぶりを見るのは何よりの楽しみです。教員としての性分でしょうか。教えることも大好きで、生徒たちがすばらしい作品を仕上げたときや、「書の甲子園」に出場し優秀な成績を修めた時などは、とても楽しい瞬間ですね。ちなみに、私自身、字が下手で苦勞した経験があるので、そういう人を教えて上手にする自信はありませんよ!
また、書画研究・伯水会というサークルを立ち上げ、現在、市内2ヶ所で教室を開いています。
平成22年度からは、市の「あじさい大学」で講座を持つことが決まりました。定年後のほうが忙しくなっているように感じています。こんなわけで、悩んでいることはと聞かれたら、「自分の書に没頭する時間が取れないこと」と答えませぬ。

今後の抱負は?
もっともっと書画の世界を掘り下げていきたい。書画家として自分の目指す作品を追い求めていきたいと思っています。
推薦者の声
自治会活動にも熱心に取り組まれている田澤さん。教育者としてもまだまだ活躍されており、忙しい毎日を過ごされているようです。
自治会活動に関する相談などを受けることがありますが、悩みも少ないようです。
どんなことにも妥協せず、常に前向きに取り組まれている田澤さんですが、やはり、書画への情熱が一番でしょうか。更なる活躍を期待しています。
麻溝地区自治会連合会
中嶋 晴之



作品の前で

補給廠返還による 小山のまちづくり

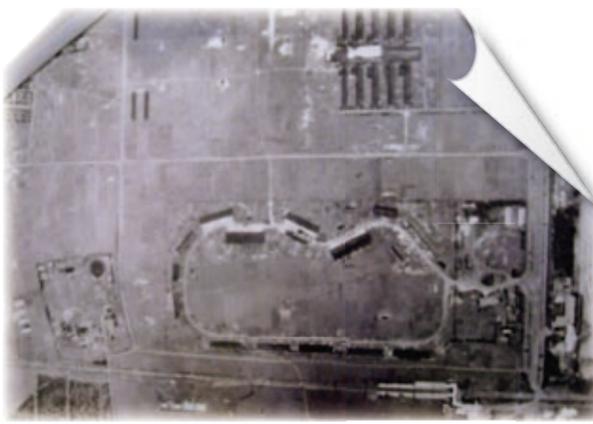
小山地区自治会連合会
会長 武井 弘吉

小山地区は、横浜線相模原駅周辺の商業施設・大規模マンション集中地区、境川南に位置し東西に連なる宮下地区、西側に位置する工業地区、そしてこれらの3地区に囲まれた住宅地区からなっています。人口は約2万人で、9つの自治会があります。

見方によっては、相模原全体の縮図のような地区ともいえます。



相模総合補給廠の一部返還予定地



当時の相模総合補給廠 (航空写真)

現在、小山地区の最大の話題は、米軍総合補給廠の一部返還・共同使用であり、相模原駅の西側に位置する広大な土地の利用計画が進んでいます。加えて小田急多摩線の相模原駅への乗り入れに向け検討も進んでおり、政令指定都市・新相模原の中心地としてのまちづくりが始まります。相模原は昭和29年に市に移行しましたが、ちょうどその頃の約52haの土地が、朝鮮戦争のために、米軍により接収されました。昭和22年の航空写真により、旧陸軍工廠の車両走行テストコース、従業員宿舎などがあつたようです。そして、

接収前には、引揚者用宿舎、旭小学校分校等も設置され、筆者も小学校庭で野球をやったものです。

米軍基地として、フェンスに囲まれて以来、50数年ぶりに、相模原の小山に戻ってくることになりました。この返還用地が、新生相模原の中心地として開発されることは、我々小山の住民にとり、誇りになるとも考えられます。



自治会長会議で加入促進に向けて話し合う

具体的な取り組みを紹介し、はじめに「自治会加入促進専門部会」を立ち上げ、20年度に地区連会則の一部改正を行い、21年度の地区連予算に「自治会加入促進費」を事業費として計上して同部会を発足。構成員である19年度・20年度の自治



大洲防災公園にて

「地域力」 アップのために

大沢地区自治会連合会
会長 八木 次夫

40年の歴史ある相模原市自治会連合会の古くて新しいチーム、それが「自治会加入の課題」です。市全体の自治会加入率60.72% (H21年4月1日現在) を

会長から、経験を生かしたアイデアをいただきながら、未加入世帯への実態やアプローチ方法などの意見交換を行いました。これらの成果として、今年「自治会加入促進月間」では、新規加入は123世帯で、加入率は約1%アップいたしました。大沢地区には、集合住宅での自治会新設など、まだまだ検討しなければならぬ課題が山積みですが、一つひとつ皆さんと話し合いながら、解決の糸口を探していきたいと考えています。

安心できる まちづくりに向けて

新磯地区
自治会法人 新戸自治会連合会
会長 加藤 裕皓

当地区は、相模の大風と相模川堤防敷法面をピンクの絨毯にする芝さくらで知られています。

用飲料水貯水槽や炊き出し時にかまどになるベンチ、ヘリポート、物資輸送の中継拠点、非常用大型便槽、さらに隣に急病診療所もあり、うらやましい限りでした。平常時はレクリエーションや地域の交流拠点にもなっていて、心と体の健康増進にも役立っているとのことでした。

むかし 昔

No.44

淵野辺村と 旗本岡野のお殿様

大野北地区

自治会連合会会長
河本 博

昭和十五年四月、軍都相模原を目指して二町六ヶ村が合併、相模原の基盤ができるまでは、南は現在の東林間から、北は大野台、矢部を含めた西門通りまでの一帯が高座郡大野村で広く細長い村でした。

そのほぼ中央、今の淵野辺本町、東淵野辺、古淵にかけての高座川(現在の境川)流域一帯が江戸時代まで相州淵野辺村でした。この淵野辺村は、お殿様、旗本岡野氏が領主として治めておりました。淵野辺村の古寺、淵源山龍像寺は、地名由来となる南北朝時代の武将、淵辺伊賀守義博によって開創され、天台沙門存光師により建立され、伊賀守守護延命地蔵尊が安置され、江戸時代の淵野辺村の領主、旗本岡野越中守の菩提寺として七百有余年の歴史を刻



淵源山龍像寺

み、寺の南高台には岡野家累代のお墓があります。淵野辺村領主旗本岡野氏の家系は、平氏維新流に端を発し遠祖は鎌倉幕府末期の執権北条高時の次男相模太郎時行と云われます。初代善兵衛某は北条を姓とし、小田原初代の北条早雲に仕え、二代目越中守泰行は田中姓を名乗り、三代目越中守融成は僧侶で才氣に富み、のちに江雪と号しました。小田原落城後は秀吉に仕え幕府の要職に付きました。融成(号江雪)の長子、岡野平左衛門房恒は長津田村(現横浜市緑区)を本貫として一千五百石を領しました。万治元年八十九歳で没し、長津田の大林寺に葬られました。

家康八男徳川頼宣に仕え駿府で三十九歳で没しました。房次の長男英明が二代目を継ぎ、千四百石余りを知行し、その後、江雪の子孫、岡野一族が江戸期を通じて幕末まで二百四十余年の長きにわたり淵野辺村の領主を勤めました。岡野本家の明治元年の当主は平次郎で淵野辺村分家は初代孫十郎友明から六代・文明まで続き、明治元年の当主は房太郎で淵野辺村の石高は二百七十一石でした。



岡野氏墓地の文化財説明板

(戦域は淵野辺・古淵の境川流域から町田市恩田川に至る地域)で激戦を交わしたあの子孫が淵野辺村の殿様になったわけでは、歴史のいたざらとはいえず、淵にある「大日堂」の設立も「井出の沢合戦」の死者鎮魂

供養のためといわれ、岡野氏の先祖供養だったのかもしれない。子母沢寛氏の小説、「父子鷹」によると岡野家の江戸屋敷は本所入江町にありまして。御家人、勝小吉が岡野家に居候したのは文政十一年(二八二八)から天保十一年(二八四〇)頃までと云われます。

小吉は、行動力もあり、岡野家の年貢徴収などで活躍しました。また岡野家用人の大川丈助をめぐると、題名が描かれています。勝小吉の父は父・勝小吉、子・勝海舟のことといわれています。やがて明治の新しい時代に入ります。

「ご案内とお願い」

「自治会報 さがみはら」は、皆様の会報です。自治会・地域での様々な活動・話題などの情報やご意見をお寄せください。

お問い合わせは、相模原市自治会連合会事務局 (042-753-3419) Email: info@sagamiha-jichiren.jp

- 編集委員
- 藤井 保 (城山町)
- 鯉登 茂 (橋本)
- 河本 博 (大野北)
- 長谷川光義 (上溝)
- 田代 明寛 (清新)
- 門倉 茂 (光が丘)
- 河本 陽一 (大野北)
- 鈴木 文昭 (田名)
- 中嶋 晴之 (麻溝)
- 富永 尚行 (東林)
- 八木 球貴 (城山町)

編集後記

市自治会連合会の広報部会長として、今年度、2回の会報発行に携わらせていただきました。会報の編集をしていると、様々な地域情報に触れることができ、一歩一歩この自治会では、こんな取り組みをしているよ、とか、昔、あの土地は、こうだったんだよ、など、編集委員の中から様々な情報が飛び交い、こうした中からも、皆さまへ伝えるべき情報を選びながら会報の編集にあたってまいりました。

さて、今年度、会報の中で特に取り上げてきたのは、政令指定都市移行によりスタートするまちづくり会議などの話題でした。自治会活動であるといっても過言ではないでしょう。この課題を解決していくために、まちづくり会議などの新しい仕組みを、皆さんと一緒に大いに活用していきたいと思っています。